

津波対策 – 津波により打ち寄せる土砂・泥による構内の排水への影響 –



ワーキングの詳細
はこちらから

論点No.37

津波により、大量の土砂、泥などが防潮堤を貫通している構内排水路に打ち寄せ、目詰まりして構内の排水が出来なくなる可能性があるが、大丈夫なのか。

第19回ワーキング
(2021.9.24) で議論

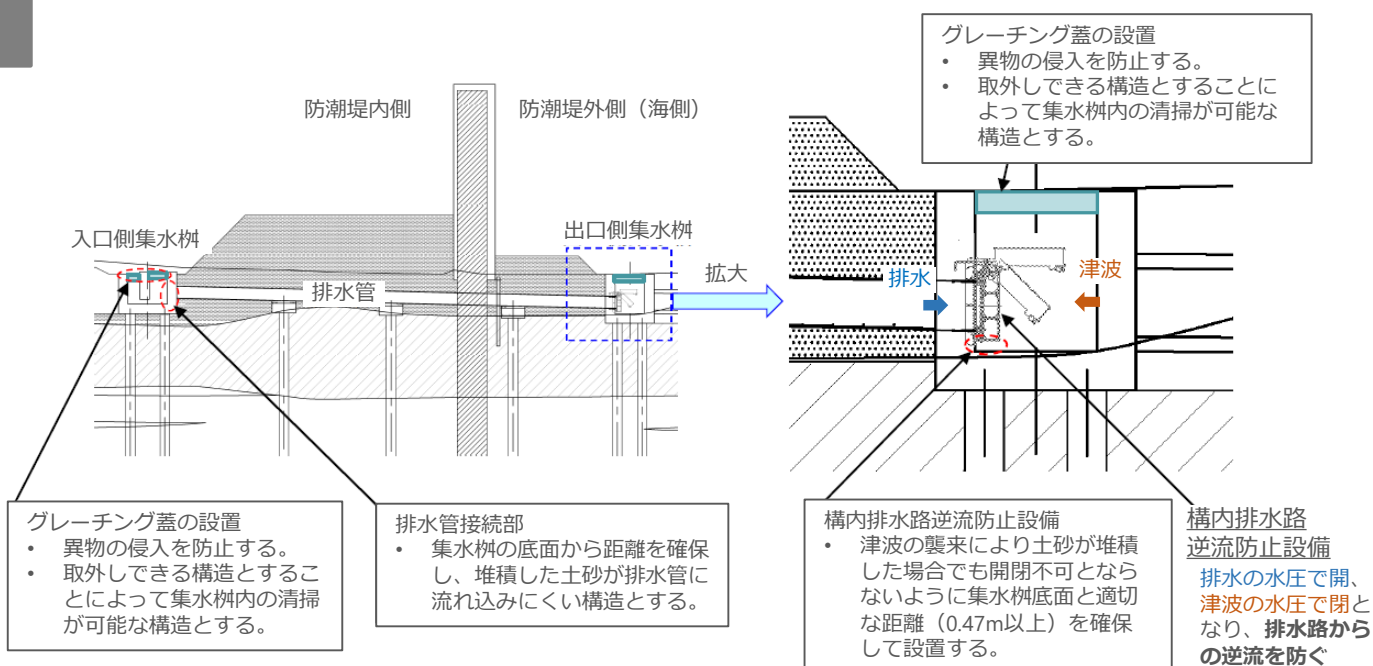
ワーキングチーム検証結果

構内排水路は、津波による土砂が敷地に流入しないよう排水路出口に逆流防止設備を設けていること、また、土砂が堆積しても排水できるような構造になっていることを確認。

ワーキングチーム検証結果（抜粋）

○発電所構内排水路の漂流物、土砂等への対策

- 入口側集水枳及び出口側集水枳にはグレーチング蓋を設置し、異物の侵入を防止することによって目詰まり等を防止
- 集水枳の排水管接続部は、枳内に堆積した土砂が排水管に流れ込み、排水性が悪化すること等を防止するため、**底面から距離を確保**
- 構内排水路逆流防止設備は、津波により打ち寄せた土砂が堆積した場合でも動作を妨げないよう、**底面から適切な距離（0.47m以上※）を確保**
※シミュレーションにより評価した、基準津波による砂の堆積高さの最大値
- 集水枳は、日常点検において枳内の土砂の堆積状況等を確認し、**速やかに土砂等を取り除くことができる構造**とする。



発電所構内排水路の構造